

正月合宿 北海道編

パート1

オッチンパンサイウペは  
晴れていたが  
原始ヶ原は彷徨い歩くのに  
1/2~1/3 十分な雪原だった。

CL 菅沼 SL 小森宮

M 高野・長谷川・斎藤・陶山・藤田・今野(記)

(12月28日)

3名が午前中の便、5名が最終便で札幌にはいる。

(12月29日)

7:05 札幌発(列車) 富良野着 9:22.

10:20 駅からタクシー2台に乗りこむ。

10:45 布札別着

11:00 ツールを着けて先行者の残したトレール  
をたどる

11:30 ~ 12:00 廃屋化したバベル川部落通過。

13:40 ~ 13:50 秋雲橋着

林道を離れ一の沢ぞいの登山道へ。

14:45 650m テント設営

(12月30日)

7:00 出発 沢をはなれ尾ねに取りつく  
倒木、巨木のすき間をぬって進む。

10:50 ~ 11:00 980m

11:30 二の沢に滑りこむ

11:45 ~ 12:00 1070m台地、原始ヶ原を望む

12:45 原始ヶ原 1100m付近

BC とする(モハモハの雪の中...)

(12月31日)

7:10 BC 出発 タンネの森の中進路は北!

8:10 ~ 8:20 三の沢通過 エゾマツの樹  
林帯がと切れ前富良野・富良野岳  
が視界いっぱいにはいる

コル目指して進んでいたが、そより

堅くなった雪にツールをきかせ富良野岳へ

9:30 ~ 10:00 1600m スキーデポ

\* 11:00 富良野岳 山頂に立つ

360°のパノラマは素晴らしく、十勝岳

上ホロカメツク山などが青空の下白く輝く。

11:15 風をさけて下る

11:45 スキーデポまで大休止

12:20 おもいおもいのツールをえがく

アスピリン・スノー(?) ゴキゲンなときは

12:50 BC 着 あっ! と云う間の滑りだった。



前富良野岳をバックに富良野岳への登りに入る

\* オッチンパンサイウペは富良野岳のアイヌ名  
『下の峠の山』と云う意味になるそうです

(1月1日)

こより82 ですよ

7:10 小雪の中BC 出発

8:50 沢 1300m 地点

9:20 尾根にとりつく 視界不良

10:05 1600m 地点 地吹雪の為撤退

10:25 地吹雪の中の滑降... ム... ム... ム

10:45 ~ 11:00 沢に滑り込み 休けい

11:50 BC 着。(タンネの中は静寂)

(1月2日)

7:30 BC をたたんで出発

8:15 ~ 8:10 五の沢を渡る

9:00 1010m 点の布部川 通過

10:35 トウヤウスベ山につらなるコルに立つ。

11:05 1200m コルから沢の中に滑り出す

上部はまあまあだが下の方は行く手  
をふさがれ 七転八起

12:30 ~ 14:10 布部川は水面が出ていて

向う岸は雪のカベ...

やっとこつなからて居る所を渡って

カベに取りつく。後は林道にそって下る。

15:00 秋雲橋着 橋の小屋の中にテントをふる。

(1月3日)

6:45 秋雲橋 出発 入山路を下る。

ほとんど傾斜がなく ツール着用

7:35 ~ 7:45 バベル川着

8:40 振り出し点 布札別着

通りかかったタクシーの無線で2台の  
タクシーを呼んでもらう

9:10 富良野駅着

パート1 おわり

{ 2月号でくわしく報告しますよ! }

820113

4

No. 00072